

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成20年4月17日 (2008.4.17)

【公開番号】特開2006-260251(P2006-260251A)
 【公開日】平成18年9月28日 (2006.9.28)
 【年通号数】公開・登録公報2006-038
 【出願番号】特願2005-77691(P2005-77691)
 【国際特許分類】

G 0 6 Q 50/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/60 1 2 6 C

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月4日 (2008.3.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

検診レポートシステムから精密検査の受診者及び精密検査の種類を示す要精密検査情報の入力を受付ける要精密検査情報受付手段と、

精密検査を行う少なくとも一つの医療機関の検査スケジュールが格納されたスケジュール格納手段と、

前記要精密検査情報受付手段が要精密検査情報の入力を受け付けると、前記スケジュール格納手段を参照して精密検査の予約が入っていない時間を検索し、その時間に前記要精密検査情報に含まれる精密検査の仮予約を行う旨を示す仮予約情報を生成する仮予約情報生成手段と、

前記仮予約情報を前記精密検査の仮予約を行う医療機関に対して送信する仮予約手段と

、
を備えることを特徴とする検診予約システム。

【請求項 2】

前記仮予約手段により仮予約情報を送信した医療機関から仮予約を受けるか否かの情報を受信する手段と、

前記受信する手段が前記仮予約を受けることを示す情報を受信すると、仮予約が完了したことを示す仮予約済情報を医師又は受診者の少なくとも一方に対して通知する通知手段と、

を備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の検診予約システム。

【請求項 3】

前記精密検査の受診者が、前記精密検査の受診を希望する医療機関を示す希望医療機関情報を格納する希望医療機関格納手段を更に備え、

前記仮予約情報生成手段は、前記希望医療機関格納手段及び前記スケジュール格納手段を参照し、前記受診者が前記精密検査の受診を希望する医療機関に対する仮予約情報を生成し、

前記仮予約手段は、前記仮予約情報が生成された医療機関に対して前記仮予約情報を送信する、

ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の検診予約システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

前記目的を達成するために、本発明に係る検診予約システムは、検診レポートシステムから精密検査の受診者及び精密検査の種類を示す要精密検査情報の入力を受付ける要精密検査情報受付手段と、精密検査を行う少なくとも一つの医療機関の検査スケジュールが格納されたスケジュール格納手段と、前記要精密検査情報受付手段が要精密検査情報の入力を受け付けると、前記スケジュール格納手段を参照して精密検査の予約が入っていない時間を検索し、その時間に前記要精密検査情報に含まれる精密検査の仮予約を行う旨を示す仮予約情報を生成する仮予約情報生成手段と、前記仮予約情報を前記精密検査の仮予約を行う医療機関に対して送信する仮予約手段と、を備える。また、前記仮予約手段により仮予約情報を送信した医療機関から仮予約を受けるか否かの情報を受信する手段と、前記受信する手段が前記仮予約を受けることを示す情報を受信すると、仮予約が完了したことを示す仮予約済情報を医師又は受診者の少なくとも一方に対して通知する通知手段と、を更に備えてもよい。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

また、前記精密検査の受診者が、前記精密検査の受診を希望する医療機関を示す希望医療機関情報を格納する希望医療機関格納手段を更に備え、前記仮予約情報生成手段は、前記希望医療機関格納手段及び前記スケジュール格納手段を参照し、前記受診者が前記精密検査の受診を希望する医療機関に対する仮予約情報を生成し、前記仮予約手段は、前記仮予約情報が生成された医療機関に対して前記仮予約情報を送信するようにしてもよい。